

主 文  
本件上告を棄却する。  
本件を上告審として受理しない。  
上告費用及び申立費用は上告人兼申立人の負担とする。  
理 由

1 上告について

民事事件について最高裁判所に上告をすることが許されるのは、民訴法312条1項又は2項所定の場合に限られるところ、本件上告理由は、理由の不備をいうが、その実質は事実誤認又は単なる法令違反を主張するものであって、明らかに上記各項に規定する事由に該当しない。

2 上告受理申立てについて

本件申立ての理由によれば、本件は、民訴法318条1項により受理すべきものとは認められない。

よって、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり決定する。

平成16年10月14日

最高裁判所第一小法廷

裁判長裁判官 泉徳治

裁判官 横尾和子

裁判官 甲斐中辰夫

裁判官 島田仁郎

裁判官 才口千晴